

化成品事業部

建設用3Dプリンター 建設DX展に出演



12月6～8日に東京ビッグサイトで開催された第1回建設DX展に、建設用3Dプリンターで制作したオブジェを出展しました。会期3日間とも非常に多くの方々にご来場いただき、建設用3Dプリンターの可能性を伝えることができました。

今回のオブジェは、共同研究契約を締結した竹中工務店と「新しい造形性」という観点から共同で企画、制作したものになります。コンクリートの硬く無機質なイメージを覆すような、柔らかく曲線的なデザインに仕上げました。

オブジェの制作は寝屋川工場にて行い、これまでにないパツツの大きさ、数量であつたため印刷（3Dプリンターでの出力のこと）は非常に苦労しました。無事に印刷が終わつた後も作業は続き、1枚約100kgのパネルを10枚程度接着剤で貼り合わせるのであるが、パネルにひび割れが入らないよう慎重に貼り合わせていくのは大変骨が折れる作業でした。

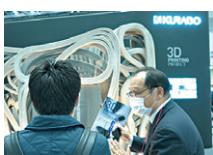
限られたスケジュールの中でも大変な作業の連続でしたが、多

くの方々のご協力のおかげで、無事に完成させることができました。特に、接着作業をお手伝いいただいた寝屋川工場やオブジェを一時的に保管いただいた群馬工場の皆さんには全面的にご協力いただき、ありがとうございました。

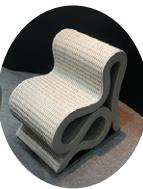
今回展示会に出演したことでの建設用3Dプリンターを建設現場で活用していくことへの期待や、強度面に対する懸念などさまざまな声を直接聞くことができました。また実際にクラボウと、ものづくりを検討したいというお話を複数いただきました。展示会で得られた情報を開発に生かし、世の中にはない新たなものづくりを今後も進めていきます。

（調査・開発グループ）

森田 真由
記



説明の様子

3D
プリンターで
制作した
ベンチ